

## 平成 25 年度第 1 回「厚労省線維筋痛症研究班」班会議プログラム

日 時 平成 25 年 9 月 1 日 (日)

10 : 30 ~ 16 : 00

場 所 桑名シティホテル 3 階会議室

三重県桑名市中央町 3-23 ( J R / 近鉄桑名駅徒歩 5 分、近鉄線が便利です )

T E L 0594-21-9870

### プログラム

10 : 30 ~ 11 : 00

- 1) 研究代表者報告 ( 松本 美富士 )
- 2) プロジェクト研究進捗状況 ( 松本 美富士 )

11 : 00 ~ 12 : 00

各個研究

- 3) 植田 弘師 ( 長崎大学 )  
「線維筋痛症病態モデルにおける抗うつ薬による完治効果と作用点解析に関する研究」
- 4) 倉恒 弘彦 ( 関西福祉科学大学、大阪市立大学、東京大学 )
  - a) 「慢性疲労症候群の実態調査結果」
  - b) 「慢性疲労症候群における疼痛と神経炎症 ( PET 解析 ) 」

12 : 00 ~ 12 : 45

昼 食

12 : 45 ~ 14 : 45

各個研究

- 5) 中島 利博 ( 東京医科大学医学総合研究所 )  
「線維筋痛症研究プラットフォームの構築と新たな慢性疼痛病態モデルの考察」
- 6) 松本 美富士 ( ( 独 ) 桑名市総合医療センター内科・リウマチ科 )  
「DSM-5 2013 の somatic symptom disorder と線維筋痛症/慢性疲労症候群」
- 7) 岡 寛 ( 東京医科大学八王子医療センター )  
「線維筋痛症の痛みの評価。特にノイロトロピンの治療効果について」
- 8) 行岡 正雄 ( 行岡病院整形外科 )  
「線維筋痛症の自律神経」
- 9) 宮地 英雄、宮岡 等 ( 北里大学精神科学 )  
「口腔領域を含む原因不明の疼痛を訴える症例の精神医学的検討」

14 : 45 ~ 15 : 00

コーヒープレーク

15 : 00 ~ 16 : 00

10) 長田 賢一 ( 聖マリアンナ医科大学神経精神科学 )

「線維筋痛症に対する抑肝散の有効性についての検討」

11) 伊藤 和憲 ( 研究協力者 ) ( 明治国際医療大学鍼灸学部 )

「鍼灸院における慢性疼痛患者の実態調査」

誌上発表

1) 横田 俊平 ( 横浜市立大学小児科 )

「若年性線維筋痛症における酸化ストレスの亢進とコエンザイム Q10 補充効果」

2) 臼井 千恵 ( 順天堂大学練馬病院メンタルクリニック )

「線維筋痛症の高次機能の解析」

3) 山野 嘉久 ( 聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター )

「線維筋痛症患者における抗電位依存性 K<sup>+</sup>チャネル ( VGKC ) 複合体抗体の高い陽性率」

## 平成 25 年度「厚労省線維筋痛症研究班」総括班会議案内

日 時 平成 26 年 2 月 23 日（日）

10：30～16：00

場 所 桑名シティホテル 3 階会議室

三重県桑名市中央町 3-23（JR/近鉄桑名駅徒歩 5 分、近鉄線が便利です）

T E L 0594-21-9870

### プログラム

10：30～10：50

厚労省健康局疾病対策課担当者ご挨拶（予定）

研究班アドバイザー挨拶（西岡 久寿樹）

研究代表者総括報告（松本 美富士）

10：50～12：00

1. 「多施設共同による米国診断基準(2010/2011)の日本人症例への妥当性の検証；日本人を対象とした診断基準の提案および慢性疲労症候群合併の検討」

松本 美富士（桑名市総合医療センター、東京医科大学医学総合研究所、藤田保健衛生大学）

2. 「慢性疲労症候群と線維筋痛症」

倉恒 弘彦（関西福祉科学大学健康福祉学部、大阪市立大学医学部疲労クリニカルセンター、  
東京大学大学院農学生命科学研究科）

3. 「病態解明の統括：研究プラットフォームの確立とシグナル伝達及びその病態に基づいた治療病型の確立」

中島 利博（東京医科大学医学総合研究所運動器科学研究部門）

12：00～12：45 昼 食

12：45～14：45

4. 「線維筋痛症の治療薬の選択」

岡 寛（東京医科大学八王子医療センターリウマチ性疾患治療センター）

5. 「線維筋痛症の自律神経」

行岡 正雄（大阪行岡医療大学、行岡病院整形外科）

6. 「口腔領域を含む原因不明の疼痛を訴える症例」  
宮岡 等、宮地 英雄（北里大学医学部精神科学）
7. 「線維筋痛症病態モデルマウスを用いた脳領域選択的な疼痛抑制因子の解析」  
植田 弘師（長崎大学大学院医歯薬総合研究科分子薬理学）
8. 「若年性線維筋痛症の臨床的特徴と CRPS を含む疼痛性疾患との鑑別について」  
横田 俊平（横浜市立大学大学院発生生育小児医療）

14：40～14：50 休 憩

14：50～15：55

9. 「FM 患者における抗電位依存性 K<sup>+</sup>チャネル（VGKC）複合体抗体の高い陽性率」  
山野 嘉久（聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター）
10. 「線維筋痛症に対する抑肝散の効果の検討」  
長田 賢一（聖マリアンナ医科大学神経精神科学）
11. 「鍼灸施設における線維筋痛症患者の実態調査」  
伊藤 和憲（明治国際医療大学鍼灸学部）
12. 誌上発表：「線維筋痛症の脳機能画像」  
臼井 千恵（順天堂大学練馬病院メンタルクリニック科）

15：55～16:00

講 評 研究アドバイザー：西岡 久寿樹（東京医科大学医学総合研究所）

## 平成24年度厚生労働省線維筋痛症研究班会議

日時：平成24年9月22日 11:00～16:00

会場：桑名シティーホテル（JR・近鉄桑名駅徒歩5分）

〒511-0068 三重県桑名市中央町3-23 TEL:0594-21-9870、FAX:0594-21-8717

### プログラム

11:00～12:00

・班長報告およびプロジェクト研究の説明と検討

主任研究者：松本 美富士

（桑名市総合医療センター・桑名東医療センター内科・リウマチ科顧問）

12:00～13:00

昼食

各個研究報告

13:00～13:20

1) プレガバリン、ミルタザピン、ドネペジル繰り返し投与による線維筋痛症モデルマウスの疼痛治癒について

植田 弘師（長崎大学大学院医歯薬総合研究科薬理学分野教授）

13:20～13:40

2) 線維筋痛症研究プラットフォームの構築と新たな慢性疼痛病態モデルの考察

中島利博、荒谷 聡子（東京医科大学医学総合研究所運動器科学研究部門教授/助教）

13:40～14:00

3) 線維筋痛症患者に痛みの評価。特に治療薬との関連について

岡 寛（東京医科大学八王子医療センターリウマチ性疾患治療センター教授）

14:00～14:20

4) 気圧の変動が関節リウマチ(RA)、線維筋痛症(FM)の自律神経に与える影響に関する研究

行岡 正雄（行岡医学研究会行岡病院整形外科院長）

14:20～14:40

5) 精神医学からみた線維筋痛症の診断と治療：線維筋痛症症例の精神症状、comorbidity、発達史上の問題

宮岡 等、宮地 英雄（北里大学医学部精神医学教授/講師）

14 : 40 ~ 14 : 55

休 憩

14 : 55 ~ 15 : 15

6)若年性線維筋痛症について(仮)

横田 俊平(横浜市立大学不大学院医学研究科発生生育小児医療医学教授)

15 : 15 ~ 15 : 35

7)線維筋痛症に対する抑肝散の作用に対する研究

長田 賢一(聖マリアンナ医科大学医学部神経精神科学准教授)

15 : 35 ~ 15 : 50

総合討論

15 : 50 ~ 16 : 00

西岡 久寿樹アドバイザーの講評

欠席者

1)線維筋痛症をモデルとした慢性疼痛機序の解明と治療法の確立に関する研究

臼井 千恵(順天堂大学練馬病院メンタルクリニック科准教授)

2)線維筋痛症患者における抗VGKC複合体抗体の測定

山野 嘉久(聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター准教授)

## 平成24年度厚生労働省線維筋痛症研究班第2回会議

日時：平成25年2月11日（月：休日）10：45～16：00

会場：桑名シティーホテル（JR・近鉄桑名駅徒歩5分）\*桑名駅へは近鉄が便利

〒511-0068 三重県桑名市中央町3-23 TEL：0594-21-9870、FAX：0594-21-8717

### プログラム

10：45～12:00

1)プロジェクト研究の進捗状況、最終年度（平成25年度）の研究計画

主任研究者：松本 美富士

（桑名市総合医療センター・桑名東医療センター内科・リウマチ科顧問）

各個研究

2)プレガバリン、ミルタザピン、ドネペジル繰り返し投与による線維筋痛症モデルマウスの疼痛治癒について

植田 弘師（長崎大学大学院医歯薬総合研究科薬理学分野教授）

3)線維筋痛症研究プラットフォームの構築と新たな慢性疼痛病態モデルの考察

中島利博（東京医科大学医学総合研究所運動器科学研究部門教授）

4)線維筋痛症患者に痛みの評価、特に治療薬との関連について

岡 寛（東京医科大学八王子医療センターリウマチ性疾患治療センター教授）

12：00～13：00

昼 食

13：00～15：00

5)線維筋痛症(FM)の夜間睡眠時の自律神経に与える影響（仮）

行岡 正雄（行岡医学研究会行岡病院院長整形外科）

6)精神医学からみた線維筋痛症の診断と治療：線維筋痛症症例の精神症状、comorbidity、発達史上の問題

宮岡 等、宮地 英雄（北里大学医学部精神医学教授/講師）

7)小児線維筋痛症の病態解析と治療法の確立

横田 俊平（横浜市立大学大学院医学研究科発生生育小児医療医学教授）

8)線維筋痛症の脳機能画像解析と modified ACR2010 の本邦例の検証

臼井 千恵（順天堂大学練馬病院メンタルクリニック科准教授）

15：00～15：15

休 憩

15：15～16：00

9)線維筋痛症患者における抗 VGKC 複合体抗体の測定

山野 嘉久（聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター准教授）

10)線維筋痛症に対する抑肝散の作用に対する研究

長田 賢一（聖マリアンナ医科大学医学部神経精神科学准教授）

11)鍼灸治療受療患者における線維筋痛症患者有病率の推計：多施設共同研究の中間報告

（紙上発表）

研究協力者：伊藤 和憲（明治国際医療大学鍼灸学部臨床鍼灸学准教授）

12 総括とコメント

アドバイザー：西岡 久寿樹（東京医科大学医学総合研究所所長）

**平成 23 年度厚生労働省「線維筋痛症をモデルとした慢性疼痛機序の解明と  
治療法の確立に関する研究」研究報告会**

日 時：平成 24 年 2 月 11 日（土）12：00～17：00

会 場：ホテルグリーンパーク津 6 階「萩の間」

〒514-0009 三重県津市羽所町 700（JR・近鉄津駅直上：津まで近鉄利用が便利です）

TEL 059-213-2111, FAX 059-213-12112

**プログラム**

昼 食：12:00～13:00（幹事会）

13:00～13:05 研究代表者挨拶

13:05～13:15 厚労省担当課挨拶（予定）

13:15～13:35 代表研究者報告（研究班の到達目標、進捗状況、次年度研究計画など）

**（病因解明）**

13:35～14:00 植田 弘師（長崎大学大学院分子薬理学）

線維筋痛症の病因機構の解明：動物モデルの作成と責任分子・診断的  
バイオマーカー同定および治療薬理学

**（病態解明）**

14:00～14:20 山野 嘉久（聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター）

線維筋痛症患者における抗 VGKC 抗体の測定

14:20～14:40 中島 利博（東京医科大学医学総合研究所）

線維筋痛症のバイオバンクの構築の試み

14:40～15:00 長田 賢一（聖マリアンナ医科大学精神神経学）

血漿アミノ酸成分解析による線維筋痛症とうつ病の判別の検討

15:00～15:15 休 憩（コーヒープレイク）

臼井 千恵（順天堂大学練馬病院メンタル科）誌上発表

線維筋痛症の高次脳機能の解析、改訂 ACR2010 診断基準の検証

**（臨床研究）**

15:15～15:35 岡 寛（東京医科大学八王子医療センターリウマチ治療センター）

線維筋痛症の痛みの pain vision による評価

15:35～15:55 宮地 英雄（宮岡 等分担研究者）（北里大学精神科学）

精神医学からみた線維筋痛症の診断と治療

15:55～16:15 行岡 正雄（行岡病院整形外科）

線維筋痛症の病態の整形外科的解析と治療方法の探策

16:15～16:35 宮前 多佳子（横田俊平分担研究者）（横浜市立大学小児科）

2011 年度全国小児科医に対するアンケート調査、若年性線維筋痛症の  
ガイドライン作成（英文）

16:35～17:00 総合討論と事務連絡

